

専門科目

目次

領域特別研究ⅠⅡピアノ (a)(前期), (b)(後期)	1	領域特別研究ⅠⅡ音楽学 (a)(前期), (b)(後期)	16
領域特別研究ⅠⅡ弦楽器 (a)(前期), (b)(後期)	4	博士共同研究Ⅰ (a)(前期), (b)(後期).....	19
領域特別研究ⅠⅡ声楽 (a)(前期), (b)(後期)	8	博士共同研究Ⅱ (a)(前期), (b)(後期).....	21
領域特別研究ⅠⅡ作曲 (a)(前期), (b)(後期)	12		

領域特別研究ⅠⅡピアノ (a)(前期), (b)(後期)	
曜日時限・単位・担当教員	
実施キャンパス	
対象年次	博士1年～

【授業の概要】

主専攻の実技個人レッスン。ピアニストとしての非常に高度な演奏技術を習得し、ピアノにおける音楽的表現の可能性を追求する。

【到達目標】

各自の研究テーマに沿った作曲家やその作品の背景、時代やスタイルも研究し、作品の内容をより深く理解し、各自の感性と個性を活かし、論理的に構築された芸術的な演奏を目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

ピアノ領域の学生

【授業の形式】

【対面を中心】演習 個人レッスン。 前期・後期でそれぞれ1単位を認定する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

演奏とレッスンへの取り組みを勘案して評価:100%

*1年次・2年次は、後期に「年次演奏発表」(60分程度のプログラム)を行うこととする。演奏を中心とした内容、演奏と研究発表を併せた内容、どちらの形式でも良い。

*発表形式によって1月末以降の実技試験期間の中で日程を決めるので、形式が決まったら教務課に申し出ること。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

各担当教員または教員室・事務局(平日 8:30ー16:30)にて確認すること。責任者のオフィスアワーは金曜日5限後アネックス

【その他】

<担当教員>

新井 博江、清水 和音、中井 恒仁、仲道 郁代、朴 久玲、有吉 亮治、今井 彩子、関本昌平、沼沢 淑音

山田 富士子、海老 彰子、村上 弦一郎、須田 眞美子、阿部 美果子、川島 伸達、齋木 隆、練木 繁夫、大西 真由子、吉武 優

領域特別研究ⅠⅡ弦楽器 (a)(前期), (b)(後期)

曜日時限・単位・担当教員

実施キャンパス	
対象年次	博士1年～

【授業の概要】

弦楽器奏者としての非常に高度な演奏技術を習得し、弦楽器における音楽的表現の可能性を追求する。

【到達目標】

各自の研究テーマに沿った作曲家やその作品の背景、時代やスタイルも研究し、作品の内容をより深く理解し、各自の感性と個性を活かし、論理的に構築された芸術的な演奏を目指す。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

弦楽器領域の学生

【授業の形式】

【対面中心】演習

個人レッスン、前期・後期でそれぞれ1単位を認定する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

演奏とレッスンへの取り組みを勘案して評価:100%

*1年次・2年次は、後期に「年次演奏発表」(60分程度のプログラム)を行うこととする。演奏を中心とした内容、演奏と研究発表を併せた内容、どちらの形式でも良い。

*発表形式によって1月末以降の実技試験期間の中で日程を決めるので、形式が決まったら教務課に申し出ること。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(奏法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(奏法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

11.レッスン(テクニカルな課題の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

担当教員または教員室・事務局(平日 8:30ー16:30)にて確認すること。責任者は火曜日午後・仙川教室にてレッスン前後に時間を確保します

【教材】

学生と指導教員とで相談のうえ、選択した作品の楽譜等

【その他】

<担当教員>

景山 誠治、神谷 美千子、豊田 弓乃、田中 晶子、長谷川 陽子、市川 雅典、加藤 知子、久保田 巧、原田 幸一郎、堀正文、磯村 和英、毛利 伯郎

領域特別研究ⅠⅡ 声楽 (a)(前期), (b)(後期)	
曜日時限・単位・担当教員	
実施キャンパス	
対象年次	博士1年～

【授業の概要】

国際的に通用する、より高度な知識に裏付けされた演奏能力、研究分析能力を高め、博士論文の作成を目指し、博士学位審査の演奏試験に臨む。

【到達目標】

オペラアリア、歌曲等の歌唱法、音楽表現法、発語法、作品分析、演奏解釈、作曲者、作詞者の考察、総合分析等をさらに研究し極める事を目標とする。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

声楽領域の学生

【授業の形式】

個人レッスン。前期・後期でそれぞれ1単位を認定する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

演奏とレッスンへの取り組みを勘案して評価:100%

*1 年次・2 年次は、後期に「年次演奏発表」(60 分程度のプログラム)を行うこととする。演奏を中心とした内容、演奏と研究発表を併せた内容、どちらの形式でも良い。

*発表形式によって1月末以降の実技試験期間の中で日程を決めるので、形式が決まったら教務課に申し出ること。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(唱法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(唱法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション(レッスン計画等)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.レッスン(読譜と演奏スタイルの研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.レッスン(作曲者についての研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.レッスン(楽曲の歴史的背景の理解)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.レッスン(取り組んでいる楽曲の分析) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.レッスン(唱法研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.レッスン(唱法研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.レッスン(練習法の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.レッスン(テクニカルな課題の研究) ①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.レッスン(テクニカルな課題の研究) ②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.レッスン(演奏解釈の研究)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.レッスン(表現技法の研究)①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.レッスン(表現技法の研究)②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.レッスン(試演)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

担当教員または教員室・事務局(平日 8:30ー16:30)にて確認すること

【その他】

<担当教員>

大橋 ゆり、腰越 満美、鈴木 准、宮本 益光、大島 幾雄、松井 康司

領域特別研究ⅠⅡ作曲 (a)(前期), (b)(後期)	
曜日時限・単位・担当教員	
実施キャンパス	
対象年次	博士1年～

【授業の概要】

作品作成のための個人指導を行う。

【到達目標】

作品の完成

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

特になし

【授業の形式】

個人指導を中心とする

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

成績評価は、上記の項目に基づき A, B, C, D で評価する。

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.和音と非和声音

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.調性の概観

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.拡大調性の可能性

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.調性と無調

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.形式の定義と応用

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.和声と対位法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.12 音技法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.歴史的作曲様式の理解

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.年代ごとの作曲技法ールネッサンス期

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.年代ごとの作曲技法ーバロック期

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.年代ごとの作曲技法ー古典期

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.年代ごとの作曲技法ーロマン派

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.年代ごとの作曲技法ー近現代

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.現代の音楽へのアプローチ

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.オリエンテーション

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.楽曲研究ー分析法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.楽曲研究ー楽器奏法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.楽曲研究ー音響構造の特性等

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

5.楽曲研究－楽器編成による特性等

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.楽曲研究－記譜法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.楽曲研究－構成法

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.後期提出作品の創作①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.後期提出作品の創作②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.後期提出作品の創作③

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.後期提出作品の創作④

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.後期提出作品の創作⑤

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.後期提出作品の創作⑥

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.作品の自己分析①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.作品の自己分析②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

教員室または事務局(平日 8:30-16:30)にて確認すること

【その他】

〈担当教員〉

石島正博、土田 英介、金子 仁美、池田 哲美、佐藤 岳晶、鈴木 輝昭、渡辺 裕紀子

領域特別研究ⅠⅡ音楽学 (a)(前期), (b)(後期)	
曜日時限・単位・担当教員	
実施キャンパス	
対象年次	博士1年～

【授業の概要】

博士論文執筆のための個人指導。

【到達目標】

博士論文の執筆を通じて、資料調査や論述方法、あるいは将来指導者になった場合の指導法など、専門的な研究者になるための技術を身につける。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

音楽学領域の学生

【授業の形式】

【対面が中心】

個人指導。前期・後期でそれぞれ1単位を認定する。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	100%	

【成績評価の要点②】

研究への取り組みで評価:100%

【課題に対するフィードバックの方法】

次回レッスン時にフィードバックする。

【授業展開と内容-前期】

1.オリエンテーション

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.研究テーマの設定

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.研究テーマと執筆スケジュールの確認

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.先行研究の検討①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.先行研究の検討②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.先行研究の検討③

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.仮説の検討と作成

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.研究方法の検討

事前学習		時間	
事後学習		時間	

9.論文の構成①(序論の検討)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.論文の構成②(序論の作成)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.論文の構成③(結論の検討)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.論文の構成④(結論の想定)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.論文の構成⑤(本論の検討)

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.研究計画の作成①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.研究計画の作成②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【授業展開と内容-後期】

1.卒業論文提出までのスケジュールの確認

事前学習		時間	
事後学習		時間	

2.研究の個別指導①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

3.研究の個別指導②

事前学習		時間	
事後学習		時間	

4.研究の個別指導③

事前学習		時間	
事後学習		時間	

5.研究の個別指導④

事前学習		時間	
事後学習		時間	

6.研究の個別指導⑤

事前学習		時間	
事後学習		時間	

7.論文の作成および修正①

事前学習		時間	
事後学習		時間	

8.論文の作成および修正②

事前学習		時間	
------	--	----	--

事後学習		時間	
------	--	----	--

9.論文の作成および修正③

事前学習		時間	
事後学習		時間	

10.論文の作成および修正④

事前学習		時間	
事後学習		時間	

11.論文の作成および修正⑤

事前学習		時間	
事後学習		時間	

12.論文の作成および修正⑥

事前学習		時間	
事後学習		時間	

13.論文の点検と修正

事前学習		時間	
事後学習		時間	

14.論文要旨の作成と修正

事前学習		時間	
事後学習		時間	

15.研究発表に向けての準備

事前学習		時間	
事後学習		時間	

【オフィスアワー】

各担当教員または教員室・事務局(平日 8:30ー16:30)にて確認すること

【その他】

〈担当教員〉

沼野 雄司、安田 和信、佐藤 康太

博士共同研究 I (a)(前期),(b)(後期)		
担当教員	安田 和信 准教授	曜日時限

実施キャンパス	調布	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～
---------	----	----	--------	------	---------

【授業の概要】

音楽学のさまざまな側面に関して、教員と学生が研究発表を通じて議論し合い、理解を深める。教員はその時期に取り組んでいる研究テーマについて、学生は博士論文にむけた発表を行なう。

【到達目標】

参加者が現代の音楽学について理解を深め、自らの研究に生かせるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

音楽学についての基礎的な知識があること。

【授業の形式】

演習（発表）形式。原則として月に1度、年間で8回。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、各自の研究発表を中心とし、他者の発表時における質問や意見など授業への貢献度も勘案する。

【課題に対するフィードバックの方法】

各自の研究発表について、その際の教員との質疑応答だけでなく、終了後の指導教員を中心としたフィードバックを実施する。

【授業展開と内容-前期】

1.教員の研究発表1

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	60 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	30 分

2.教員の研究発表2

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	60 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	30 分

3.学生の研究発表

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	60 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	30 分

【授業展開と内容-後期】

1.学生の研究発表1

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

2.学生の研究発表2

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

3.学生の研究発表3

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

4.学生の研究発表4

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

5.学生の研究発表5

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

【オフィスアワー】

金曜日6限、調布1号館研究室。

博士共同研究Ⅱ(a)(前期),(b)(後期)					
担当教員 安田 和信 准教授			曜日時限		
実施キャンパス 調布	単位	各 1 単位	対象年次	博士 1 年～	

【授業の概要】

音楽学のさまざまな側面に関して、教員と学生が研究発表を通じて議論し合い、理解を深める。教員はその時期に取り組んでいる研究テーマについて、学生は博士論文にむけた発表を行なう。

【到達目標】

参加者が現代の音楽学について理解を深め、自らの研究に生かせるようになる。

【履修資格/履修に必要な予備知識や技能】

音楽学についての基礎的な知識があること。

【授業の形式】

演習(発表)形式。原則として月に1度、年間で8回。

【成績評価の要点①】

試験	提出課題・作品発表等	受講姿勢
	70%	30%

【成績評価の要点②】

成績評価は、各自の研究発表を中心とし、他者の発表時における質問や意見など授業への貢献度も勘案する。

【課題に対するフィードバックの方法】

各自の研究発表について、その際の教員との質疑応答だけでなく、終了後の指導教員を中心としたフィードバックを実施する。

【授業展開と内容-前期】

1.教員の研究発表1

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	60分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	30分

2.教員の研究発表2

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	60分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	30分

3.学生の研究発表

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	60分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	30分

【授業展開と内容-後期】

1.学生の研究発表1

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70分

2.学生の研究発表2

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70分

3.学生の研究発表3

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70分

4.学生の研究発表4

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

5.学生の研究発表5

事前学習	予告されたテーマについて予習しておくこと	時間	20 分
事後学習	発表内容について復習しておくこと	時間	70 分

【オフィスアワー】

金曜日6限、調布1号館研究室。